

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月9日

上場取引所 東大

上場会社名 住友軽金属工業株式会社

コード番号 5738 URL <http://www.sumitomo-LM.co.jp>

代表者 (役職名) 社長

(氏名) 山内重徳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 川島輝夫

TEL 03-3436-9771

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	112,164	△28.9	△151	—	△1,030	—	△9,068	—
21年3月期第2四半期	157,807	—	4,154	—	1,573	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△23.85	—
21年3月期第2四半期	0.01	0.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	319,422	24,410	7.3	53.95
21年3月期	321,330	18,934	5.6	48.83

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 23,307百万円 21年3月期 17,928百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	△17.3	6,000	—	1,500	—	△5,200	—	△12.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	432,038,867株	21年3月期	367,567,811株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	20,184株	21年3月期	480,317株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	380,220,654株	21年3月期第2四半期	367,128,444株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	160,000	△23.5	5,000	—	500	—	△10,400	—	△25.60

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)のわが国経済は、昨年秋以降の急激な景気後退は底を打ち、僅かながら持ち直しの動きが見られたものの、設備投資は企業収益の落ち込みにより低水準に留まり、個人消費も雇用・所得情勢の悪化を背景として低調に推移いたしました。

このような経済環境の下、アルミ圧延業界におきましては、主力需要分野である缶材は堅調に推移し、自動車関連・電機関連など景気悪化で大幅に落ち込んだ分野でも需要は緩やかに回復してきたものの、全体としては従来の7割程度の需要水準となりました。また、伸銅業界におきましても、景気悪化によりエアコンの需要が低迷したことなどにより、主力の空調用銅管の需要は低水準に推移いたしました。

こうした状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、主力の缶材等一部の分野が堅調に推移した他、多くの需要分野で前年度後半と比較して需要の回復が見られたものの、全般的には、景気悪化前であった前年同期に比べて販売数量は大幅な減少となり、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は112,164百万円(前年同期比28.9%減)となりました。

損益面におきましては、販売数量の大幅な減少による損益悪化に対処するため、今年1月より実施しております人件費及び経費等削減の緊急対策に加え、4月より人件費及び経費のより一層の削減を実施しておりますが、棚卸資産の評価差額等の影響を主因として、営業損益は151百万円の損失、経常損益は1,030百万円の損失となりました。さらに加えて、アルミ押出素材・部材加工事業及びアルミ加工品事業の再編に伴う設備の減損損失や資産の処分等の事業再編損を計上したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の純損益は9,068百万円の損失となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

第2四半期末の総資産は、キャッシュフロー創出を目的とした在庫量圧縮による棚卸資産の減少を主因として、前連結会計年度末に比べて1,908百万円減少し、319,422百万円となりました。

また、純資産は平成21年9月に実施した第三者割当増資による増加に加え、為替変動の影響による為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末に比べて5,476百万円増加し、24,410百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、海外市場の持ち直しや経済対策等による下支えを背景に、景気は緩やかな回復基調を迎える見込みですが、個人消費の低迷が継続するなどの先行き不安感も根強く、経済環境は依然として厳しく不透明な状況が続くことが予想されます。アルミ圧延業界、伸銅業界におきましても、需要は従来と比較して低水準で推移する見通しで、引き続き厳しい環境が予想されます。

当社グループの通期の業績見通しにつきましては、棚卸資産の評価差額等の影響の縮小、自動車関連など昨年急減した分野の緩やかな回復等により、下期の業績は上期に比べ改善する見込みであるものの、本格的な需要回復の見通しは立ち難く、経営環境は大変厳しい状況です。

こうした状況の下で、通期の連結業績予想は、売上高2,300億円(前期比17.3%減)、営業利益60億円、経常利益15億円、当期純損失52億円を見込んでおります。

なお、上記の予想値は、平成21年9月2日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました予想から変更はありません。

(注)業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想と大きく異なる場合があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
固定資産の減価償却費の算定方法
減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,785	9,427
受取手形及び売掛金	35,532	34,891
商品及び製品	12,977	14,547
仕掛品	16,282	18,284
原材料及び貯蔵品	8,454	14,618
その他	5,182	3,929
貸倒引当金	△49	△61
流動資産合計	89,165	95,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,415	26,864
機械装置及び運搬具（純額）	23,812	25,892
土地	109,041	110,336
その他（純額）	18,327	17,752
有形固定資産合計	177,596	180,846
無形固定資産	747	1,123
投資その他の資産		
投資有価証券	38,341	31,831
その他	14,257	12,555
貸倒引当金	△687	△665
投資その他の資産合計	51,911	43,721
固定資産合計	230,256	225,691
繰延資産	0	1
資産合計	319,422	321,330

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,780	52,606
1年内償還予定の社債	154	310
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	14,995
短期借入金	87,812	89,830
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
未払法人税等	495	258
事業再編損失引当金	1,493	—
賞与引当金	418	406
その他	18,666	12,724
流動負債合計	159,820	174,131
固定負債		
新株予約権付社債	5	5
長期借入金	110,281	97,684
退職給付引当金	4,832	4,592
負ののれん	732	874
その他	19,338	25,106
固定負債合計	135,190	128,263
負債合計	295,011	302,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,966	20,211
資本剰余金	3,260	5,902
利益剰余金	2,883	6,035
自己株式	△2	△76
株主資本合計	29,107	32,072
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78	△1,232
繰延ヘッジ損益	332	△875
土地再評価差額金	9,769	9,783
為替換算調整勘定	△15,980	△21,821
評価・換算差額等合計	△5,800	△14,144
少数株主持分	1,103	1,006
純資産合計	24,410	18,934
負債純資産合計	319,422	321,330

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	157,807	112,164
売上原価	142,381	102,395
売上総利益	15,425	9,769
販売費及び一般管理費	11,270	9,920
営業利益又は営業損失(△)	4,154	△151
営業外収益		
受取利息	69	58
受取配当金	127	106
為替差益	—	1,356
受取賃貸料	142	116
その他	197	530
営業外収益合計	537	2,170
営業外費用		
支払利息	2,243	2,266
その他	875	782
営業外費用合計	3,118	3,049
経常利益又は経常損失(△)	1,573	△1,030
特別利益		
投資有価証券売却益	—	236
固定資産売却益	9	—
ゴルフ会員権売却益	8	—
その他	—	18
特別利益合計	17	254
特別損失		
事業再編損	—	7,107
固定資産除売却損	116	78
投資有価証券評価損	379	—
過年度時間外手当	379	—
その他	109	467
特別損失合計	985	7,653
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	605	△8,429
法人税、住民税及び事業税	721	488
法人税等調整額	△155	110
法人税等合計	566	598
少数株主利益	33	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6	△9,068

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年7月31日付で当社を完全親会社、株式会社日本アルミを完全子会社とする株式交換を実施しました。この結果、資本剰余金が505百万円増加しております。

また、平成21年9月17日付で住友商事株式会社、株式会社三井住友銀行他5社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、資本金が2,755百万円、資本剰余金が2,755百万円増加しております。

これらを主因としまして、当第2四半期連結会計期間末において資本金が22,966百万円、資本剰余金が3,260百万円となっております。

(補足資料)

平成21年度上期(第2四半期累計期間)の業績概況

(1) 連結決算

① 部門別売上高

(単位:億円)

区 分	平成20年上期	平成21年上期	増減	増減率
アルミ圧延品部門	915	643	△ 272	△29.7%
伸銅品部門	328	219	△ 109	△33.2%
加工品他	335	260	△ 75	△22.5%
合 計	1,578	1,122	△ 456	△28.9%

② 損益

区 分	平成20年上期	平成21年上期	増減	増減率
売 上 高	1,578	1,122	△ 456	△28.9%
営 業 利 益	41	△ 2	△ 43	—
経 常 利 益	16	△ 10	△ 26	—
四 半 期 純 利 益	0	△ 90	△ 90	—

設 備 投 資	44	33	△ 11
減 価 償 却 費	55	50	△ 5

(2) 個別決算

① 品種別売上高

区 分	平成20年上期		平成21年上期		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	千トン	億円	千トン	億円	千トン	億円
ア ル ミ 板	172	728	145	545	△ 27	△ 183
ア ル ミ 押 出	22	157	14	84	△ 8	△ 73
アルミ圧延品部門	194	885	159	629	△ 35	△ 256
伸銅品部門	26	282	21	179	△ 5	△ 102
そ の 他	—	38	—	24	—	△ 14
合 計	—	1,205	—	832	—	△ 372

② 損益

(単位:億円)

区 分	平成20年上期	平成21年上期	増減	増減率
売 上 高	1,205	832	△ 372	△30.9%
営 業 利 益	21	3	△ 18	△85.3%
経 常 利 益	5	△ 15	△ 20	—
四 半 期 純 利 益	△ 2	△ 138	△ 136	—

設 備 投 資	34	16	△ 18
減 価 償 却 費	43	39	△ 4

通期の業績見通し

(1) 連結

(単位:億円)

区 分	平成20年度	平成21年度	増減	増減率
売 上 高	2,782	2,300	△ 482	△17.3%
営 業 利 益	△ 77	60	137	—
経 常 利 益	△ 143	15	158	—
当 期 純 利 益	△ 181	△ 52	129	—

設 備 投 資	92	50	△ 42
減 価 償 却 費	106	102	△ 4

(2) 個別

① 品種別売上高

区 分	平成20年度		平成21年度		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
	千トン	億円	千トン	億円	千トン	億円
ア ル ミ 板	304	1,273	292	1,030	△ 12	△ 243
ア ル ミ 押 出	36	260	29	170	△ 7	△ 90
アルミ圧延品部門	340	1,533	321	1,200	△ 19	△ 333
伸 銅 品 部 門	50	508	43	360	△ 7	△ 148
そ の 他	—	51	—	40	—	△ 11
合 計	—	2,092	—	1,600	—	△ 492

② 損益

(単位:億円)

区 分	平成20年度	平成21年度	増減	増減率
売 上 高	2,092	1,600	△ 492	△23.5%
営 業 利 益	△ 102	50	152	—
経 常 利 益	△ 128	5	133	—
当 期 純 利 益	△ 176	△ 104	72	—

設 備 投 資	63	30	△ 33
減 価 償 却 費	86	82	△ 4